

地域経済分析シリーズ

商業編

●全国からみた愛知県の商業（平成23年）	1
●広域エリア別年間商品販売額（平成23年）	2
●広域エリア別の年間商品販売額における卸売業、小売業の割合（平成23年）	3
●広域エリア別事業所数（平成23年）	4
●広域エリア別従業者数（平成23年）	5
●広域エリア別の1事業所当たり年間商品販売額（平成23年）	6
●広域エリア別の従業者1人当たり年間商品販売額（平成23年）	7
●業種別年間商品販売額（平成23年）	8
●業種別事業所数（平成23年）	9
●業種別従業者数（平成23年）	10

※本編において、商業とは、日本標準産業分類（平成19年11月改訂）での大分類I
卸売業、小売業を指す。

※卸売業、小売業の中の産業分類（中分類）は、日本標準産業分類（同上）の定義に
よる。

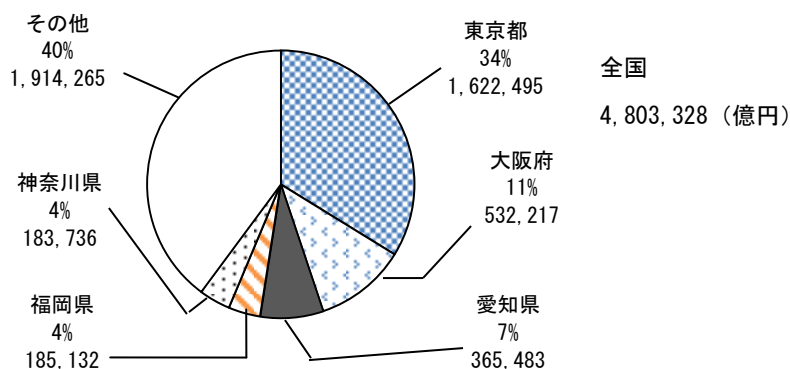
※平成24年経済センサスー活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）を元に
分析しているため、1ページの本県の数値と、2ページ以降の卸売業と小売業の数値
の合計は一致しない。また、2ページの広域エリア別年間商品販売額のそれぞれの合
計は一致しない。

● 全国からみた愛知県の商業（平成23年）

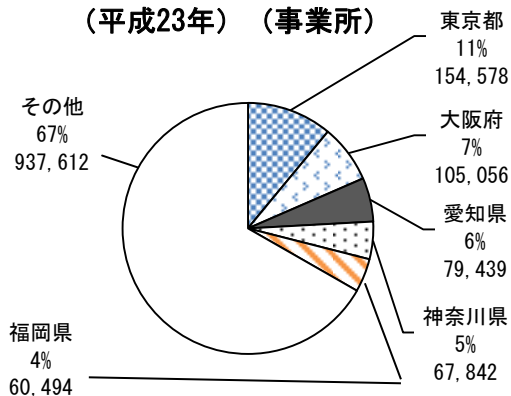
図は、平成23年を調査年とする「平成24年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した卸売業と小売業を合わせた年間商品販売額、事業所数、従業者数の全国シェアです。

愛知県は年間商品販売額、事業所数、従業者数ともに、全国シェアは東京都、大阪府に続く第3位となっております。

年間商品販売額の全国シェア
(平成23年) (億円)

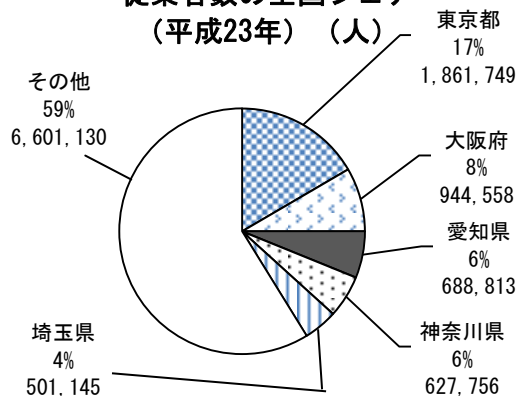


事業所数の全国シェア
(平成23年) (事業所)



全国 1,405,021 事業所

従業者数の全国シェア
(平成23年) (人)



全国 11,225,151 人

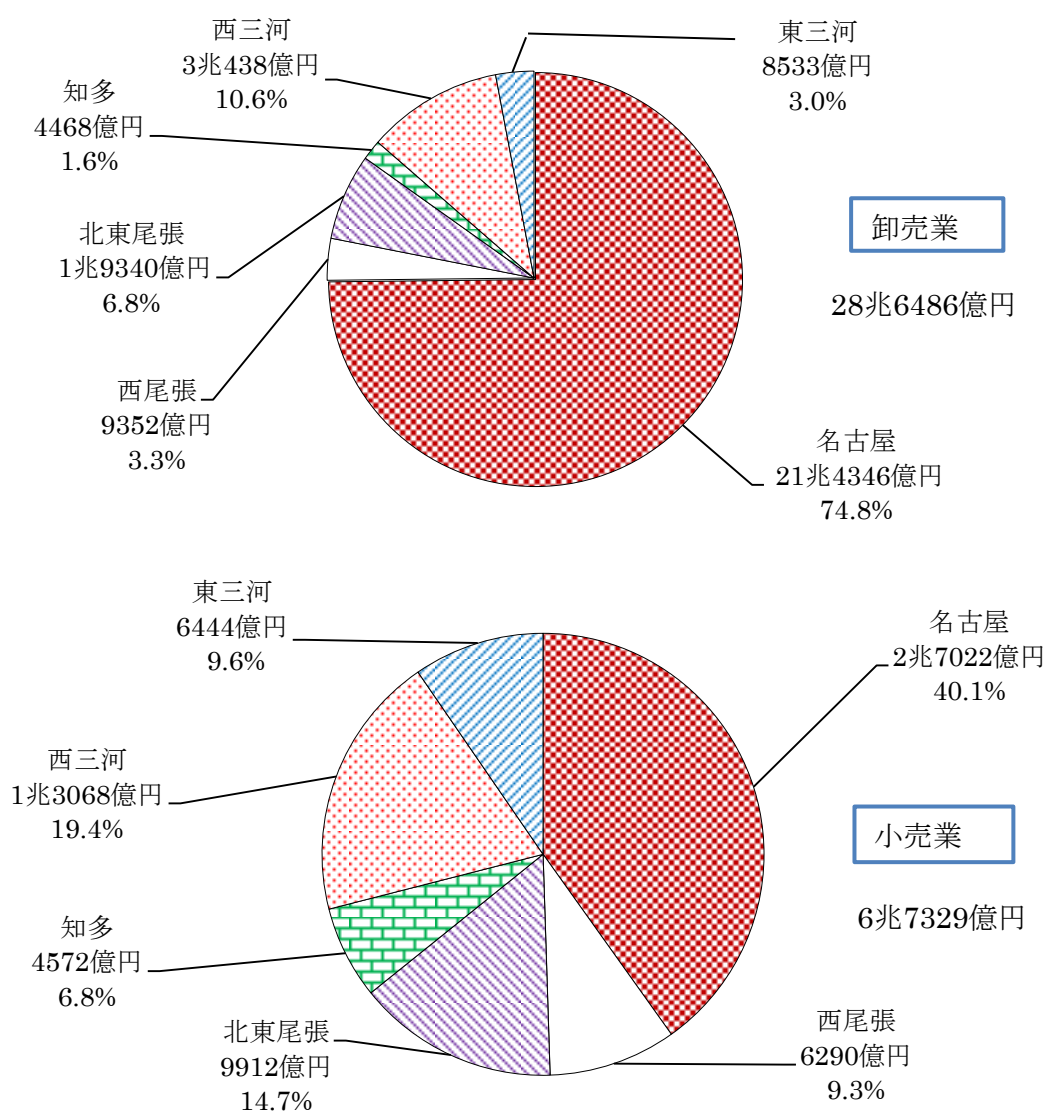
資料：愛知県「平成24年経済センサス活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

● 広域エリア別年間商品販売額（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した広域エリア別の年間商品販売額の割合です。

それによると、平成 23 年の県内 6 広域エリアにおける年間商品販売額の規模をみると、卸売業では、県全体の 28 兆 6486 億円のうち、名古屋エリアが 21 兆 4346 億円で最も大きく、県全体の 74.8% を占めており、次いで西三河エリアの 3 兆 438 億円、10.6% となっています。

また、小売業では、県全体の 6 兆 7329 億円のうち、名古屋エリアが 2 兆 7022 億円で最も大きく、県全体の 40.1% を占めており、次いで西三河エリアの 1 兆 3068 億円、19.4%、北東尾張エリアの 9912 億円、14.7% となっています。



資料：愛知県「平成 24 年経済センサス活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

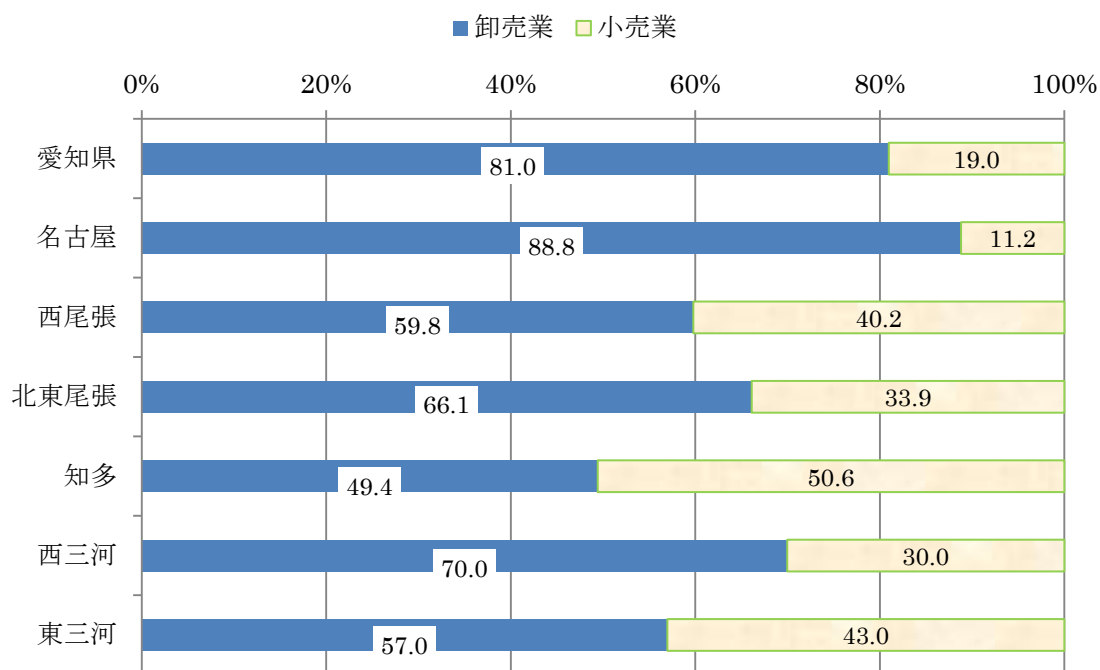
● 広域エリア別の年間商品販売額における卸売業、小売業の割合（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した広域エリア別の年間商品販売額における卸売業、小売業の割合を示したものです。

県全体では、卸売業が小売業より著しく大きく、全体の 81.0%を占めています。

卸売業の割合が大きい地区をみると、商社等が集まる名古屋エリアが 88.8%と最も大きく、次いで西三河エリアの 70.0%、北東尾張エリアの 66.1%となっています。

また、小売業の割合が大きい地区をみると、知多エリアが 50.6%と最も大きく、次いで東三河エリアの 42.9%、西尾張エリアの 40.2%となっています。



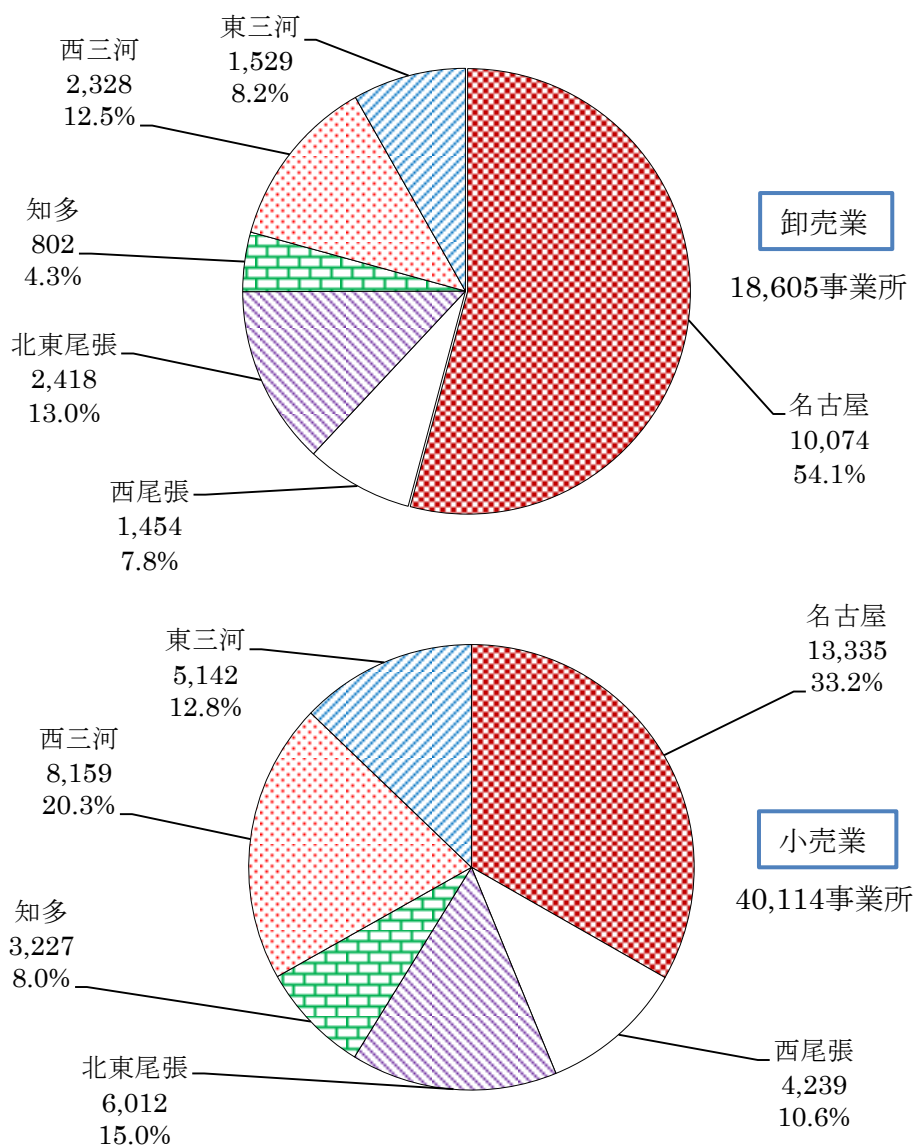
資料：愛知県「平成 24 年経済センサス活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

● 広域エリア別事業所数（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した広域エリア別の事業所数の割合です。

それによると、平成 23 年の県内 6 広域エリアにおける事業所数の規模をみると、卸売業では、県全体の 18,605 事業所のうち、名古屋エリアが 10,074 事業所で最も大きく、県全体の 54.1% を占めており、次いで北東尾張エリアの 2,418 事業所、13.0%、西三河エリアの 2,328 事業所、12.5% となっています。

また、小売業では、県全体の 40,114 事業所のうち、名古屋エリアが 13,335 事業所で最も大きく、県全体の 33.2% を占めており、次いで西三河エリアの 8,159 事業所、20.3%、北東尾張エリアの 6,012 事業所、15.0% となっています。



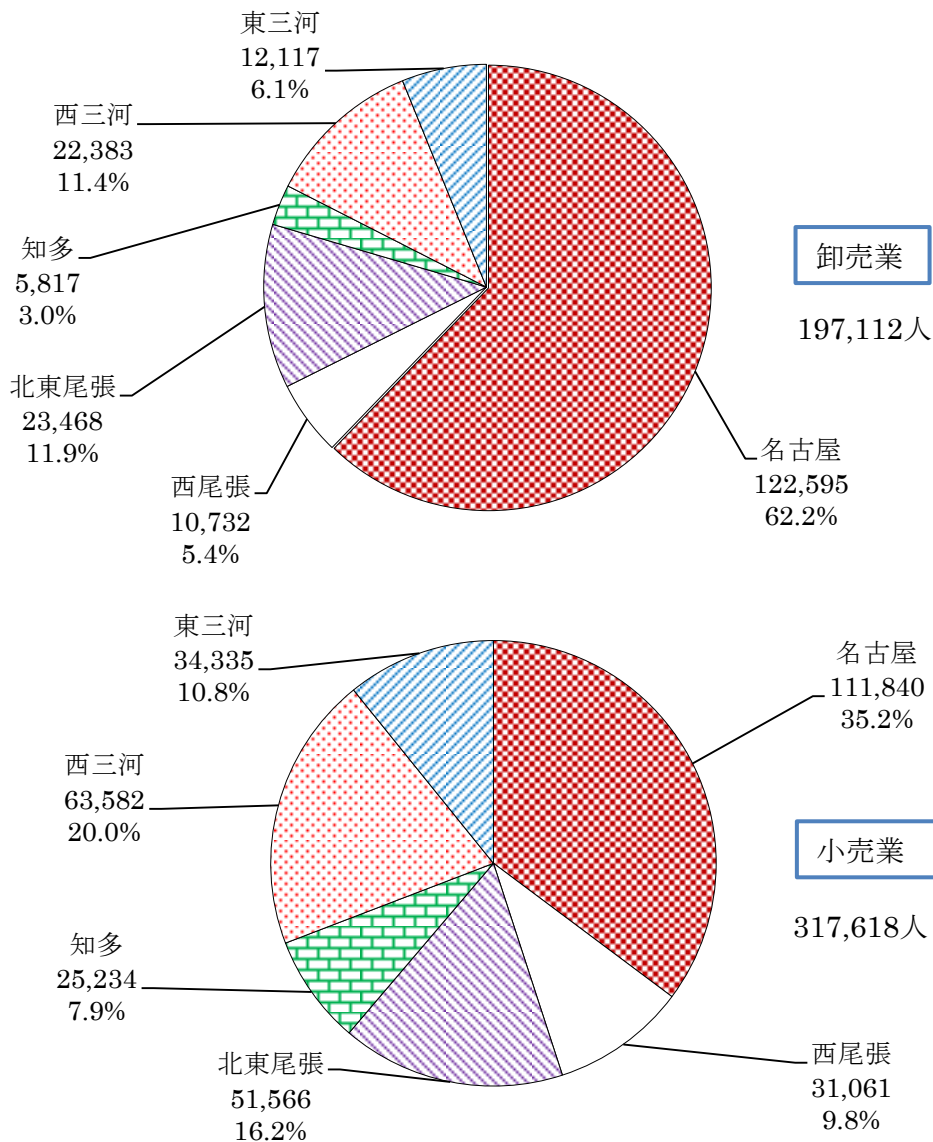
資料：愛知県「平成24年経済センサスー活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

● 広域エリア別従業者数（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した広域エリア別の従業者数の割合です。

それによると、平成 23 年の県内 6 広域エリアにおける従業者数の規模をみると、卸売業では、県全体の 197,112 人のうち、名古屋エリアが 122,595 人で最も大きく、県全体の 62.2%を占めており、次いで北東尾張エリアの 23,468 人、11.9%、西三河エリアの 22,383 人、11.4%となっています。

また、小売業では、県全体の 317,618 人のうち、名古屋エリアが 111,840 人で最も大きく、県全体の 35.2%を占めており、次いで西三河エリアの 63,582 人、20.0%、北東尾張エリアの 51,566 人、16.2%となっています。



資料：愛知県「平成24年経済センサスー活動調査(確報)産業別集計(卸売業、小売業)」より作成